



わらじまつり 福島の元気! はじける!



8月3・4日の両日、福島市の夏を彩る「第43回福島わらじまつり」が開催されました。伝統を受け継ぎながら新しいことに挑戦していこうと名物の大わらじに加えて長さ7mの「福幸わらじ」も新登場。福島のおふれる元気を全国に発信しました。



江戸時代から続く「信夫三山さむらい眺ま

いり」は、旅の無事や健脚を願って羽黒神社に大わらじを奉納したことが始まりだと言われています。その祭りに由来する夏の風物詩が「福島わらじまつり」です。日本一の大わらじの伝統を守り、冬の「眺ま

いり」に奉納された大わらじと合わせて一足とすることで、より一層の健脚を祈願する意味も込められています。

今年の大わらじの奉納では、大わら

じのほか、夜空に向かって立つ長さ約7m、重さ約1トンの「福幸わらじ」も登場させるなど、趣向を凝らした新しいプログラムに沿道から大きな拍手が沸き起こっていました。

また、23団体、約2,600人による「わらじおどり」、ヒップホップ調の音楽に合わせて踊る「ダンスングソーダナイト」、さらに「わらじ競走」もにぎやかに繰り広げられ、2日間にわたって福島の元気はじけました。

1~6 わらじおどり
7 大わらじパレード
8 福幸わらじ
9~11 わらじ競走

3・10 撮影：平成24年度市民カメラマン 佐久間智之さん
6 撮影：平成24年度市民カメラマン 突戸 良之さん
7 撮影：平成24年度市民カメラマン 吉井 勝美さん